

# 2014年 APLAC 第20回総会および関連会議報告

2014年7月1日  
独立行政法人 製品評価技術基盤機構  
認定センター (IAJapan)

## 1 開催日時・場所

2014年6月20日～6月27日

於：グアダラハラ・メキシコ（ホスト認定機関：ema）

会場：ヒルトン グアダラハラ 2F

## 2 日程

6月21日(土) 理事会 (BoM)

22日(日) 理事会 (BoM), APLAC-PAC 合同理事会

23日(月) 技術委員会 (TC), 広報委員会 (PIC), APLAC-PAC 合同広報委員会

24日(火) 技能試験委員会 (PTC), 教育訓練委員会 (TRC), APLAC 議長・各委員会議長  
会議

25日(水) MRA 評議会 (MRAC)

26日(木) MRA 評議会 (MRAC), 総会 (GA), APLAC-PAC 合同署名式

27日(金) APLAC-PAC 合同総会, 総会 (GA)

## 3 APLAC 総会等概要報告

### 3.1 出席者

本合同総会及び関連会議へは、APLAC 議長である Nigel Jou（台湾 TAF）および PAC 議長である Brett Abraham（豪&ニュージーランド JAS-ANZ）をはじめ、オーストラリア、中国、香港、インド、インドネシア、フィリピン、日本、韓国、台湾、マレーシア、シンガポール、ニュージーランド、タイ、米国、カナダ、メキシコ、ロシア、ベトナム、パプアニューギニア、モンゴル、バングラデシュ、スリランカ、サウジアラビア等の正会員及び賛助会員ならびに PAC 非加盟のミャンマー、ラオス、カンボジア、また、関連機関である IAF, EA, IIOC, PTB 等、約 30 カ国・経済地域より約 180 名が参加した。我が国からは、5 機関 18 名（IAJapan(6名), JAB(8名), JASC(1名), VLAC(2名), JIPDEC(1名)) が出席。

### 3.2 APLAC 議長、MRA 評議会議長及び理事選挙

APLAC 議長 Nigel Jou 氏 (台湾 TAF) および MRA 評議会議長 Roxanne Robinson 氏 (米国 A2LA) は 2015 年 1 月 1 日より 2 年間の任期継続となった。また、理事会役員 5 名のうち、次の 3 名が改選された。

① Barry Ashcroft (IANZ, ニュージーランド)

② Anil Relia (NABL, インド)

③ Wong Wang Wah (HKAS, 香港・中国)

上記 3 名の任期は 2015 年 1 月 1 日より 2 年間。

### 3.3 APLAC 委員会議長選挙

各委員会議長 4 名のうち、広報委員会議長 Roger Muse (米国 ANAB / ACLASS / FQS) を除く次の 3 名が推薦・再指名された。

① 教育訓練委員会議長 Zhang Mingxia 氏 (中国 CNAS)

② 技能試験委員会議長 奈良広一氏 (日本 IAJapan)

③ 技術委員会議長 Trace McInturff 氏 (米国 A2LA)

なお、広報委員会議長の後任については、IAJapan 藤間及び HKAS の Wong Wang Wah 氏の推薦状により、IAJapan の山本が就任することが APLAC 指名委員長の Chang Kwei-Fern (SAC) 氏より報告され、決定した。上記 4 名の任期は 2015 年 1 月 1 日より 2 年間。

### 3.4 メンバーシップ

去年 9 月にベトナム・ダナンで開催された APLAC 第 19 回総会以降、APLAC に下記 5 メンバーが加わり、APLAC 署名機関数は 36 機関、22 カ国・経済地域となった。

1. GCC (Gulf Cooperation Council) Accreditation Center (**GAC**) : 正会員
2. Accreditation of Vietnam Joint Stock Company (**AoV**), Vietnam (民間) : 正会員
3. Bangladesh Accreditation Board (**BAB**), Bangladesh : 正会員
4. Korea Testing Certification (**KTC**), Korea : 準会員
5. Central Geological Laboratory (**CGL**), Mongolia : 準会員

### 3.5 次回以降の総会等会議の開催時期について

次回の APLAC-PAC 合同総会および関連会議は 2015 年 6 月 13 日 (土) ~20 日 (日) にスリランカ、コロンボ市 (ホスト機関 : SLAB) の The Kingsbury Hotel で開催される予定。今回メキシコのグアダハラで開催された 2014 年の合同総会の開催結果の評価にもとづき、2016 年の開催を合同とするのか単独とするのかを決定することとなるが、ホスト機関である台湾の TAF から、単独または合同総会のどちらでも開催することが可能であることが共有された。2017 年の開催地およびホスト機関は未定。

## 4 委員会関連報告

### 4.1 APLAC 技術委員会

参加人数:約 50 名 (うち IAJapan 2 名、JAB 3 名、VLAC 1 名)

- a) 各 WG からの作業進捗状況の報告。
- b) 2013 年 11 月に東京で開催された標準物質生産者ワークショップにおける合意事項を盛り込んだ APLAC TC 008 の改正が予定されている。
- c) 技能試験提供者 (PTP) が採用する統計手法を適切に評価するための ISO 13528 研修 (PTP 審査員向け) のニーズがある。
- d) PTP 認定にかかるガイダンス文書の必要性についての提言などが報告された。
- e) 試験の不確かさにかかる文書 (APLAC TC 005) の改正案が委員会メンバーに配布される予定。

### 4.2 APLAC 技能試験委員会

参加人数:約 40 名 (うち IAJapan 2 名、JAB 2 名、VLAC 2 名)

- a) 各 WG の作業進捗状況、APLAC 技能試験の進捗状況の報告。
- b) 技能試験データベースの記載項目および管理について。
- c) 技能試験代替手法にかかるガイダンス文書案、技能試験参加頻度にかかるベンチマーク文書 (APLAC PT 006) のあり方等。
- d) APMP-APLAC 合同技能試験の紹介。
- e) 本委員会の予算の縮小にかかり APLAC 技能試験の見直し (実施計画の見直し、参加人数制限等) が必要とされている。

#### 4.3 APLAC 広報委員会

参加人数：17名（うち IAJapan 1名、JAB 1名）

- a) APLAC の Tagline（キャッチフレーズ）をロゴの右に配置することが決定した（以下画像はイメージ案）。
- b) APLAC Tagline について APLAC ロゴに関する文書 APLAC SEC 046 issue 4 を修正し、今後メンバー宛に確認やコメントのために回付される予定。



#### 4.4 APLAC 教育訓練委員会

参加人数：約 20名（うち IAJapan 1名、JAB 2名）

- a) 2014 年に開催された教育訓練プログラム担当者より報告があった。
- b) APLAC RMP ワークショップについては、APLAC 技術委員会の予算で開催されたため特に説明はなかった。
- c) 教育訓練委員会が主催するプログラムにおけるホテルや施設の格付けを APLAC TR002 では、三つ星としているが、各国および経済地域によってその定義や提供されるサービス内容が異なるので、もう少しわかりやすい、参照しやすい記述にして欲しいとの意見が多数あった。
- d) 2016 年内に開催する教育訓練プログラムは APLAC 評価員を対象とした PTP ワークショップ (PT provider accreditation workshop)、予算は AUD 20,000。
- e) 改正を予定している文書は APLAC TR 001, TR 002(必要に応じて)および APLAC TR 005。
- f) 2017 年には ISO/IEC 17011 および ISO/IEC 17025 の改正に伴う研修プログラムを開催する予定。

#### 4.5 APLAC MRA 評議会

MRA 評議会にて下記の 10 認定機関の継続および新規スコープである技能試験プロバイダーの拡大が承認された。

- ema (メキシコ)：継続 (試験,校正,臨床検査室,検査) 及び拡大 (技能試験プロバイダー)
- JAB (日本)：継続 (試験,校正,臨床検査室,検査) 及び拡大 (標準物質生産者,技能試験プロバイダー)
- HKAS (香港・中国)：継続 (標準物質生産者) および拡大 (技能試験プロバイダー)
- A2LA (米国)：継続 (試験,校正,臨床検査室,検査, 標準物質生産者) 及び拡大 (技能試験プロバイダー)
- TAF (台湾)：拡大 (技能試験プロバイダー)
- ANSI-ASQ National Accreditation Board dba ACLASS & FQS (米国)：拡大 (技能試験プロバイダー)
- SAC (シンガポール)：継続 (試験,校正,臨床検査室,検査) 及び拡大 (技能試験プロバイダー)

- PINGLAS (パプアニューギニア) : 継続 (試験)
- JAS-ANZ (オーストララシア) : 継続 (検査)
- PAO (フィリピン) : 継続 (試験,校正)

これにより、技能試験プロバイダーの MRA 署名認定機関が 7 機関となった。

APLAC MRA 署名機関数内訳 :

署名機関数 36  
 国・経済地域数 : 22  
 適用範囲 : 6  
 試験 : 33  
 校正 : 26  
 検査 : 16  
 臨床検査室 : 16  
 標準物質生産者 : 10  
 技能試験プロバイダー : 7

## 5 今後の主な予定

- 【暫定】2015年1月6日(火)～7日(水) APLAC 主任評価員研修@香港 (ホスト機関 HKAS)
- 【暫定】2015年1月8日(木)～9日(金・半日) MRA 評議会@香港 (ホスト機関 HKAS)
- 2015年6月13日(土)～20日(土) PAC・APLAC 合同総会および関連会議 (スリランカ、ホスト機関 : SLAB)
- 2016年 APLAC-PAC 合同総会および関連会議@台北または高雄 (ホスト機関 : TAF)

## 6 所感

はじめての APLAC-PAC 合同総会としてメキシコで ema の主催で開催されたが、現地におけるロジはスムーズに運営されていた。今回初めて開催された、APLAC-PAC 広報合同委員会などの合同委員会については、今後会合回数や共通課題を議論していくうちに、一体感のある会合になることを期待したい。